



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

北極、南極の動物や極寒の地の不思議な現象を紹介する特別展「氷点下の世界〜カッキーン〜」(静岡新聞社・静岡放送など主催)が21日、浜松市中区の浜松科学館で開幕した。9月2日まで開かれる。

浜松科学館特別展

ホッキョクグマやペンギンのはく製、オーロラが光る仕組みを易しく解説したパネルなど多彩な展示が会場を飾った。氷の中に魚を閉じ込めた「水族館」では早速、来場者が氷点下20度の超低温の世界を体験した。

『氷点下の世界』開幕



「水族館」で身を縮めて氷点下20度の世界を体験する児童ら。浜松市中区の浜松科学館。開会式には静岡新聞社・静岡放送の谷川治浜松総局長ら関係者と市内の小中学生80人が出席。一般の来場者とともに展示室も見学し歓声を上げた。市立相生小の鈴木裕貴君(12)は「マイナス20度は想像を超える寒さだった。氷の中で魚が固まっているのが不思議だった」と声を弾ませた。午前9時半〜午後5時(最終入場午後4時半)で会期中無休。一般800円、中・高生600円、小学生以下400円、3歳以下無料。

2012年7月22日朝刊 県内総合版

- ① 氷点とは何度のことでしょうか。
- ② 来場者は何度の世界を体験できるのででしょうか。
- ③ 氷点下の世界でやってみたいことを考えましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 社会・理科・総合)